

競技ルールと注意事項

「オホーツク玉入れ選手権大会」は全日本玉入れ選手権のルールにそって行います。

(※ジュニアの部を除く)

● 競技用具

- ① アジャタコート 直径6mのサークルをラインテープで示す。
- ② アジャタバスケット（公認） 一般の部を4m12cm、ジュニアの部を2m80cmの高さとし、バスケットの深さ44cmとする。
- ③ アジャタボール（公認） (1) アジャタボール（99個） 80g±2gとする。
(2) アンカーボール（1個） 250g±5gとする。
- ④ アジャタシューズ 屋内用シューズ（運動靴）着用とする。

● 基本ルール

4～6人の選手が合計100個（アジャタボール99個、アンカーボール1個）のボールをバスケットに入れるまでの時間を競うタイムトライアルスポーツです。

- ① 出場選手は一般の部が中学生以上、ジュニアの部が小学4～6年生の4～6名とし、4人から1人でも欠けると失格となります。
- ② 選手が競技開始前までに集合しないときは失格となります。
- ③ 選手の二重登録は失格となります。
- ④ スタートはフライング防止のため後ろ向きからとなります。（号砲スタート）フライングは再スタート、2回目でフライングしたチームは失格となります。
- ⑤ 99個のアジャタボールを先に入れ、アンカーボールは一番最後に入れます。（先に入ると失格となります）
- ⑥ 100個のボールが全部入っていないと失格となります。
- ⑦ 棒などの道具や肩車などの投球は失格となります。
- ⑧ ボールがバスケットに掛かっている場合のルールは以下のとおりとします。
 - (1) 99個のボールが入っているか、バスケットに掛かっている場合。
アンカーボールを投球後、アンカーボールが入れば仮にアジャタボールが落ちたとしてもセーフとします。
 - (2) アンカーボール投球後、アンカーボールが入らずにアジャタボールが落ちた場合。
アンカーボール投球後に落ちたアジャタボールは入っているボールとみなしますので、アンカーボールを入れてください。
 - (3) アンカーボール投球前にバスケットに掛かっているアジャタボールが落ちた場合。
落ちたアジャタボールをもう一度先に入れてからアンカーボールを入れてください。

- ⑨ 選手以外の方がアジャタボールに触れると失格となります。
- ⑩ 各予選・決勝とも4分間の制限時間を設けます。(残りのボール数で順位を決定します。)
- ⑪ 1次予選のみ30秒程度の試技タイムを設定します。
- ⑫ その他競技運営については、監督会議において通知します。

● 注意事項

- ① ジュニアの部の監督は必ず成人の責任者となります。
- ② アジャタボールが破損した場合は審判員がすぐに補充しますので、競技は中断せずにそのまま続けてください。
- ③ セーフ、アウトの判定は審判員のコールにより審判長が判断します。
- ④ 監督等がサークル外から指示してもかまいません。
- ⑤ 抗議等については、監督のみが速やかに審判長に申し出てください。
- ⑥ 選手登録の変更は受付の時点で行ってください。
- ⑦ 失格は記録タイムなしという扱いとなります。
- ⑧ その他、万一競技進行上のトラブルが発生したときは、審判長の判断に従ってください。

● その他

- ① 大会参加料と昼食代は当日受付でお支払いください。(ジュニアの部は無料)
- ② 競技会場で飲める飲料はフタ付に限ります、食事は禁止していますので、競技会場以外でお願いします。喫煙は館外の所定の場所で行います。
- ③ 昼食としてお弁当を斡旋します。希望者は参加申込書に記入してください。なお、飲酒をしての競技参加は認めませんのでご注意ください。
- ④ ゴミは各自でお持ち帰りください。
- ⑤ 下足はチームごとにまとめて下足置場か、指定の場所に置いてください。
- ⑥ 優勝チームには、がんばれくんねっぶ賞として賞金5万円が授与されます。
- ⑦ この大会の優勝チーム(一般の部・レディースの部)には、9月に和寒町開催される全日本玉入れ選手権に、オホーツク代表として推薦いたします。なお、優勝チームが諸般の事情により本大会に参加できない場合は、準優勝チームに出場資格が移り、以下順に繰り下がります。
- ⑧ がんばれパフォーマンス賞として、統一された衣装やユニークな衣装での参加など、参加チームの中で一番印象に残ったチームには賞金2万円が授与されます。
- ⑨ その他特別賞など参加した全チームに景品を用意していますので、閉会式には必ず出席するようにしてください。(閉会式の中でアトラクションも行います。)
- ⑩ 今年はキッチンカーも出店予定となっていますので楽しみに！